

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		生涯学習講座運営事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	3	教育の健幸		所属部	教育委員会事務局
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課
	業務分野	35	学習の啓発と参加機会の提供		所属班	生涯学習班
課長名		渡辺 良輔		担当者名		衛藤 剛
内線		1505				
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法根拠
	一般	10	5	3	10794	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	中央公民館及び御代志市民センター公民館で行なっている主催事業で、受講者の要望等を取り入れながら、各種の趣味講座を実施している。 中央公民館定期講座は、社会教育法第5章公民館でも定義づけされ、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化(心豊かに暮らすこと)を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として昭和46年ごろから事業が実施されている。近年は社会情勢等に伴う対象者(市民)個々のライフスタイルの変化から、求められるニーズも多様化し、講座メニューも変わってきている。 事前に、どのような講座を行なってほしいか希望を調査するための市民アンケートを実施したり、受講後に満足度調査を兼ねてアンケートを実施することにより、受講者のニーズの把握を図っている。 また、生涯学習の人材の育成・活用を図るため、生涯学習人材バンクを設置。
【業務の流れ】	①講座メニューの検討 ②講座内容の決定 ③講師の選定 ④講座案内チラシの作成 ⑤講座生募集・決定 ⑥講座の開催 ⑦講座終了後の評価 ⑧支払い事務 なお、令和3年度から生涯学習主催講座等の運営業務を包括的に委託している。
【主な予算費目】	報酬(中央公民館長・社会教育指導員分)、消耗品費、備品修繕費、役員費(切手・ハガキ代)、委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

【目的】中央公民館を核とした生涯学習の推進  
 【内容】各種講座の開催、市民講座の開催(委託)、会計年度任用職員として中央公民館長と社会教育指導員を配置した。  
 【実績】市民向け趣味の講座として、絵手紙教室やパソコン教室など数回に分けて行う生涯学習講座と市民の教養を深めるため毎月で行う市民講座を株式会社くまもと健康支援研究所に委託し実施した。生涯学習講座が39講座、889人の申込、692人の参加があった。市民講座は10講座を開講し、登録者数399名、延べ924人の参加があった。中央公民館長を配置し、主催講座の企画を行った。また、学校教育と社会教育の連携を図った。社会教育指導員を配置し、住民の生涯学習活動への指導を行い、自主活動グループの育成を図った。  
 【成果】開講定員数の予定より上回る講座が多く、3.7倍(やさしい筆ペン教室)や2.8倍(はじめての簡単ピラティス)など倍率も高く抽選を要する講座が3講座、また、定員を増やすなどの対応にて開講した。令和5年度から応募方法にQRコード申込を取り入れて3回目となり、申込方法別割合として60%を占め定着してきたと思われる。「外国人のための日本語講座」も定員半数以上、和食や和菓子づくりなどを組み込み日本文化を体験できる学習内容を提供した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

ガーデニング、実用書道、料理、着付け、陶芸、英会話、健康づくり等の各教室や、自分みがき塾、市民講座等を実施予定。また、新しい内容の講座の導入、オンライン講座の実施、受講曜日・時間帯、会場(栄市民センター)の拡大等を行なうことにより、幅広い年代の市民に受講してもらえるようにする。

③予算の主な増減の理由

会計年度任用職員報酬額改定による報酬・期末勤勉手当の増

成果指標	(単位)	データ取得方法
受講者数	人	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	人		1,069	1,322	1,200	1,616	1,500	1,600	1,650	1,700
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	8,625	9,038	10,082	10,488	8,746	8,746	8,746	8,746
(A)事業費計	千円	8,625	9,038	10,082	10,488	8,746	8,746	8,746	8,746	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

定員を超える申し込みがあり、市民の学習ニーズを捉えた講座を開講することができた。  
 平日の夜間や土曜日に講座を開催し、子育て世代や働き世代が参加しやすい環境を整えた。  
 多文化理解を進めるための講座を開催することができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)